

がん細胞の人生を考える ～癌になってしまった私たちはいつ 安心できるのか～

香川大学 医学部 医学教育学
横平 政直

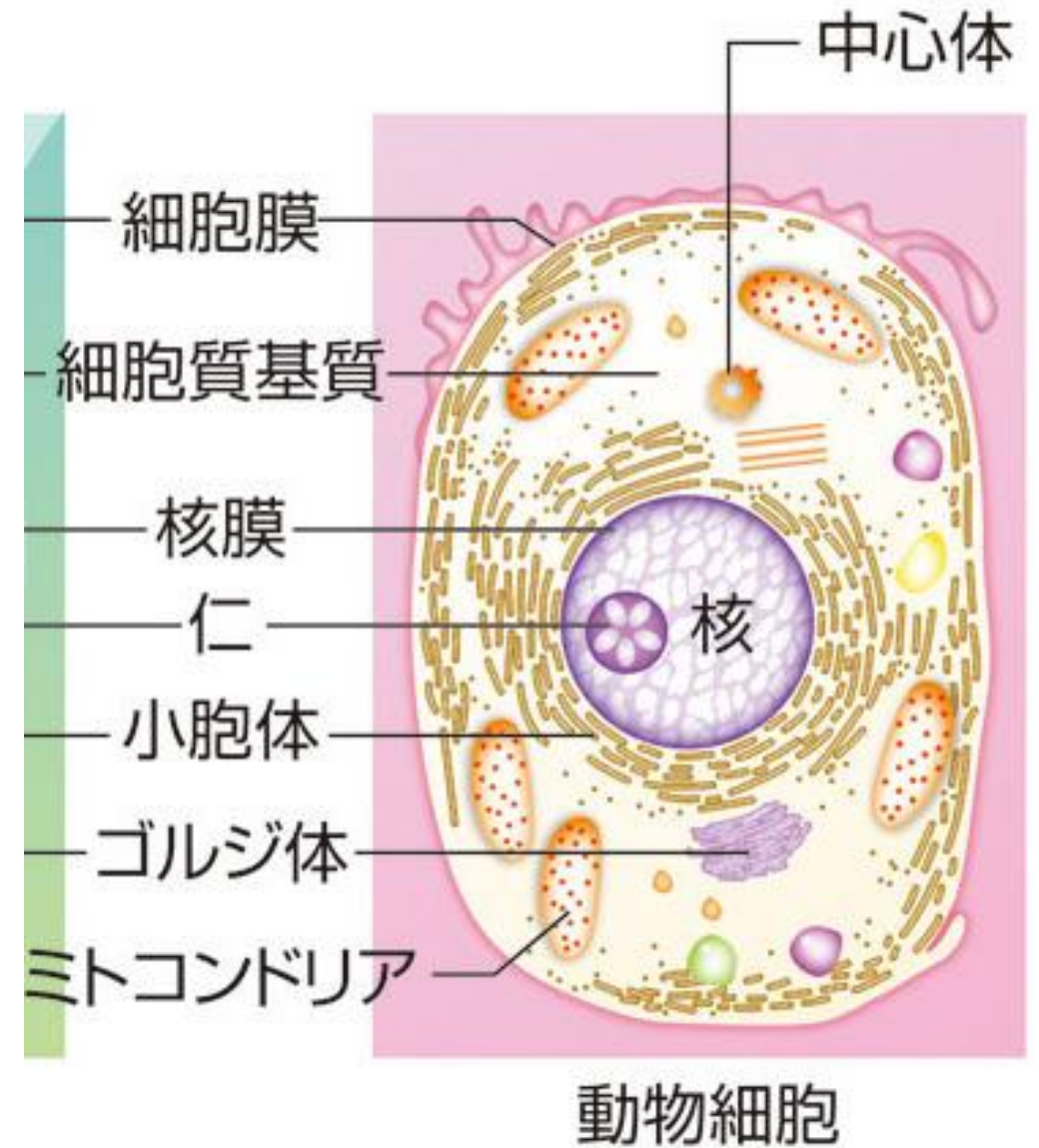
1, 5年寛解後、
がん体質はどうなるのか？

正常細胞の新陳代謝

- 人体の細胞の数は、約37兆個である。
- 人体は、1日で1兆個もの細胞を入れ替えている。
- 毎日1兆個の細胞が入れ替わり、1ヶ月で30兆個が新しい細胞になっていく。

細胞とは？

- 人体の細胞の数は、**約37兆個**である。
- 人体は、**1日で1兆個**もの細胞を入れ替えている。
- 毎日1兆個の細胞が入れ替わり、**1ヶ月で30兆個**が新しい細胞になっていく。





正常細胞の 新陳代謝

- 
- 不要になった細胞は死んで、その近辺の元気な細胞を細胞分裂させて2個にし、その一つを失った細胞に入れ替えて成長させる。
 - 細胞分裂時に遺伝子（設計図）をコピーして引き継ぐ。

細胞ががん細胞になる瞬間

- 遺伝子設計図は生きていくと少しずつ汚れていく（メチル化：CH₃）
- 汚れたままコピーされていく
- 意味のある設計図「間違い」ががん化につながる
- 汚れが貯まれば貯まるほどがん化しやすくなる
- 汚れは元通りにならない
- 生まれつき設計図の不安定性（読みにくい箇所）を持っている人もいる

5年寛解後、 がん体質は どうなるの か？

- 5年寛解は「そのがん」が治る時期（乳がんを除く）
- 遺伝子の汚れはきれいにはならない（生まれつき、日常生活）
- 新たながんができる可能性は高い
- もし、生まれつき素因があるなら、遺伝子診断により、がんになりやすい臓器が判明する可能性がある

2, 手術入院までの数カ月の待ち時間、
放置していて大丈夫なのか？

癌細胞は成長できない未熟（子ども）の ままの細胞である

- 言うことを聞かない
- 協調性が不十分
- 元気で走り回る
- 癌細胞によって、未熟さは異なる



がんの分化度：大人への近さ

- 高分化型：最も大人に近い、増殖はゆっくり、統率高い
 - 中分化型
 - 低分化型：最も未熟（大人に遠い）、増殖は早い、統率低い（転移しやすい）、元気（浸潤しやすい）
-
- 低分化型ほど進行しやすい

抗癌剤や放射線治療の効果が大きいのは？

- 低分化型ほど（未熟ほど）、効果が高い
- 増殖が早い＝細胞分裂が高頻度
- 抗癌剤治療や放射線治療は細胞分裂を阻止する
（薬の治療は例外あり）

手術入院までの数カ月の待ち時間、放置 していて大丈夫なのか？

- 分化度によって、大丈夫かどうか変わります。
- 高分化型なら待ち時間でもそれほど増殖しません。
- がんの診断がつくのは病理診断です。分化度は、病理診断で分かります。
- 分化度によって待ち時間は判断されています。